

医学系研究科 保健学専攻

学位プログラム： 医療画像技術科学研究

授与する学位： 修士（保健学）

教育目標

大阪大学及び医学系研究科の教育目標のもと、保健学専攻医療画像技術科学研究プログラムでは将来の高度な医学、医療を担うべき、次のような能力を備えた創造性豊かで開拓精神旺盛な医療技術者及び医学研究者の育成を目指します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

放射線医学及び放射線技術学の発展へ貢献できる研究を推進するため、最先端かつ高度な専門性と深い学識を教授します。

○高度な教養

博士前期課程では入学までに養って来た教養と深い専門知識を十分に活かして発展させます。

○高度な国際性

専門知識、技術に加え、グローバル社会で活躍するための語学力を備えた人材の育成を目指します。

○高度なデザイン力

研究を通じて自分でものを考える能力や種々の問題を解決できる高度なデザイン力を養成し、医療従事者だけでなく、研究者としても活躍できる人材を育成します。

○独自の教育目標

医療画像技術科学をより深く理解するため、関連分野に関しても連携機関の人材を駆使し、教授します。

「医療画像技術科学」の先端分野において知的リーダーシップを発揮できる人材を育てるべく学位プログラムを遂行します。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学及び医学系研究科保健学専攻のディプロマ・ポリシーのもと、学位プログラム「医療画像技術科学研究プログラム」では、医療画像技術科学の先端分野において知的リーダーシップを発揮できる人材を育てる教育目標のもと、以下にあげるような能力を修得した学生に修士（保健学）を授与します。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・医療画像技術科学分野の高度な専門性と深い学識を得るために、主体的かつ継続的に学修する能力を有している

○高度な教養

- ・高い倫理観高度な教養を身につけ、医療・医学のプロフェッショナルであるという自覚のもとに行動できる
- ・社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に貢献できる

○高度な国際性

- ・国内にとどまらず世界に通用する高度な医療専門職としての能力を有している
- ・日本語及び英語を用いて必要な情報を多面的に収集できる

○高度なデザイン力

- ・医療画像技術科学分野における新たな問題を主体的に解決するための実践的な方法をデザインできる
- ・得られた情報を客観的に整理、分析し、科学的根拠の下に論理的に考察することができる

○独自の学習目標

- ・医療被ばく低減策、被ばくを伴わない新規画像診断法の開発など、放射線医学をより発展させた最新の知識を修得できる

自主性を重んじた学修・研究指導により次世代を担う高度医療者・研究者を養成します。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学及び医学系研究科保健学専攻のカリキュラム・ポリシーのもと、学位プログラム「医療画像技術科学研究プログラム」では以下のとおりカリキュラム・ポリシーを定めています。

【教育課程編成の考え方】

多様なバックグラウンドを持つ学生が、高い倫理性と強い責任感を持ち、医療画像技術科学領域において独創的な研究をデザインし遂行する能力を養います。独創性の高い研究を育むためには、他分野との融合研究を積極的に推進し、一方で萌芽的研究やシーズ研究を大切にする柔軟な思考と吸収力、広い視野が必要です。

【学修内容及び学修方法】

本研究科をはじめ、専門領域において世界最先端の連携大学院講座において高度な医療技術を検討し、修士論文としてまとめます。このため、日々、実験を行い、専門的な講義と研究検討会に参加することと並行して、専門分野以外にも視野を広げ、修得した知識を社会における課題解決に応用できる能力を養うために高度教養教育科目を履修し、指導教員の了承を得て他研究科・他専攻の専門科目を履修します。また、国際的な情報発信能力を養うため、高度国際性涵養教育科目を履修し、研究成果を国内外の学会で発表します。その傍らで、ティーチングアシスタント制度により、学生や後進に対して研究指導できる能力を育成します。

【学修成果の評価方法】

修士論文の作成は、研究遂行力、発表能力の鍛錬だけでなく、科学者であるとともに保健医療人にとって必要な、高い倫理性と強い責任感、課題遂行力の涵養を目指しています。修士論文作成は指導教員と話し合いながら精緻に行われ、修士論文発表会で副査や教員からの質疑応答を経たのち完成されます。それ以外には講義の必須単位を取得する必要があり、試験、レポート、出席状況等シラバスに記載された学習目標に沿って評価を行います。

研究を科学論文としてまとめることは、医療職・研究者のキャリアにおいて大変重要なステップです。「医療画像技術科学研究プログラム」では実りある大学院生活を多彩なスタッフと教育システムで支えます。

医学系（保健学専攻）医療画像技術科学 修士 カリキュラムマップ

	研究科学習目標					1年				2年			
	高度な教養	最先端かつ深い学識	高度な国際性	高度なデザイン力	独自の教育目標	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期
高度な教養 ○高い倫理観と高度な教養を身につけ、医療・医学のプロフェッショナルであるという自覚のもとに行動できる。	○					共通科目							
○社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に貢献できる	○		○										
最先端かつ高度な専門性と深い学識 ○医療技術科学分野の高度な専門性と深い学識を得るために、主体的かつ継続的に学習する能力を有している。		○			○	特論 臨床画像診断学、放射線制御・生物学、核医学、生体光学・医用画像工学、先端医用物理工学、脳機能画像解析学など							
高度なデザイン力 ○医療技術科学における新たな問題を主体的に解決するための実践的な方法をデザインできる。		○	○	○									
○得られた情報を客観的に整理、分析し、科学的根拠の下に論理的に考察することができる。		○		○									
独自の学習目標 ○医療被ばく低減策、被ばくを伴わない新規画像診断法の開発など、放射線医学をより発展させた最新の知識を修得できる	○			○	○								
高度な国際性 ○国内にとどまらず世界に通用する高度な医療専門職としての能力を有している。		○	○			医療技術科学ゼミナール							
○日本語および英語を用いて必要な情報を多面的に収集できる。	○		○										